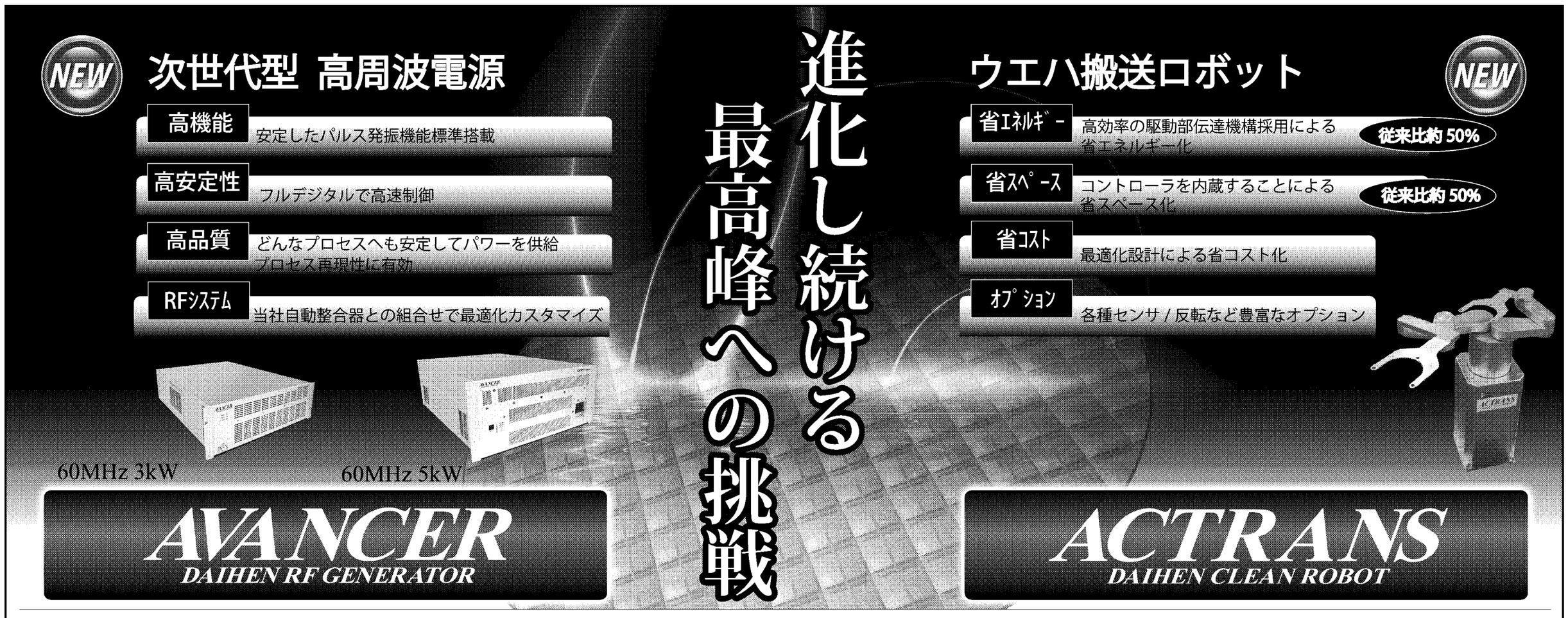


DAIHEN 株式会社ダイヘン 半導体機器カンパニー

大阪：〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL：06-6390-5520/5521
東京：〒105-0002 東京都港区愛宕1丁目3番4号
（愛宕東洋ビル10階）
TEL：03-5733-3235

SEMICON® Japan2012に出展致します。
日時：2012年12月5日（水）～12月7日（金）10:00～17:00
会場：千葉幕張メッセ　ブース：HALL5 5B-301
http://www.daihen.co.jp/handoutai/

アジア半導体市場の動向をみる

SEMICON® Japan2012

半導体市場の先行きを読む上で、大きく影響を与えるのが、情報通信技術（ICT）産業の動向だ。特にパソコンや関連製品のハードウエアで圧倒的な世界シェアを誇る台湾のICT産業では〝ポストパソコン〟時代に向けた動きが活発化している。台湾エレクトロニクス市場をみることによって、これからの半導体製造装置市場の先行きがみえてくるだろう。

台湾―ICT産業

新モバイル機器がけん引

いま、世界の半導体生産拠点となっているのがアジアだ。台湾・新竹市の新竹科学工業園区には半導体受託製造メーカー（ファウンドリー）で世界のトップを走る台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー（TSMC）、同じくファウンドリービジネスを展開しているUMC、メモリーメーカーのパワーチップセミコンダクター（PSC）、マクロニクス（MXIC）などの巨大な半導体デバイスの製造施設、ファブが立ち並ぶ。

TSMCが10月25日に発表した2012年第3四半期の売上高は1413億8000万ニュー台湾ドル（1台湾ドル＝2・82円）で、前年同期比32・8％増となった。純利益は493億ニュー台湾ドルで、売上高、純利益ともに過去最高を記録した。多機能携帯電話（スマートフォン）や携帯型情報端末（タブレット端末）といったモバイル機器向け製品の需要増が顕著だったことがその背景に挙げられる。

TSMCの好調からもわかるように、モバイル機器市場の拡大は高性能CPUや、DRAM、フラッシュといったメモリーデバイスなどが大量に使われることにつながり、半導体市場をけん引することになる。半導体業界関係者はモバイル機器市場に大きな期待を寄せている。

ノートパソコンやパソコン用マザーボードの大手メーカー、台湾のASUSはタブレットとスマートフォンを合体できる「Padphone（パッドフォン）2」を世界市場に売り込む。タブレット裏側の収納口に起動していたスマートフォンを差し込めば瞬時に画像や音声、データ通信が継続できるというもの。第一世代から部材などを見直し、40％軽量化に成功。クアッドコアプロセッサーや2ギガバイトのメモリーを搭載し、スムーズな操作感が特徴だ。

10月に発売した台湾などに続き、日本を含む40カ国にまずは供給体制を整えた。スマートフォンとタブレットそれぞれの利便性を持ちながら合体も可能という新たな利用法を提案する。

同社マーケティング責任者のベンソン・リン氏は「（通信事業者が契約者の情報を記録する）SIMカードは1枚で済み、2台持つより通信費が安くできる」とその革新性をアピールする。また「iphone（アイフォーン）」と「ipad（アイパッド）」に1米ドル足せば手に入るというのがコンセプト」（リン氏）と明かす。米アップルが切り開いた携帯情報端末市場に食い込む戦略だ。

台北市の電子機器街にある商業施設「光華數位新天地」で販売されているASUSの「Padphone 2」

市場掘り起こし

「ウィンドウズ8」効果期待

半導体産業にとっては米マイクロソフトが10月に発売した基本ソフト（OS）「ウィンドウズ8」による市場掘り起こしも期待される。アップルやグーグルにタブレットで後れをとったマイクロソフトは巻き返しのため、同OSではタブレットを意識し、タッチパネル操作を前提にしたデザインにしている。

ASUSやACERなどに代表される台湾メーカーも積極的に搭載製品を販売開始。中でもパソコンから液晶画面を取り外してタブレットとしても利用できるタイプが目立っている。

ウィンドウズはビジネスユーザーが多い。新OSによってパソコンとして利用できることに加え、タブレットとしても手軽に持ち運びできるようになるというメリットは新市場の開拓に向け、強力な武器だ。

セットメーカー各社の販売競争が起こる中、主要構成部品を供給する半導体産業への影響は当然、大きくなる。半導体デバイスメーカー最大手のインテルもウィンドウズ8対応のプロセッサーに力を入れている。

こうした中、台湾・経済部（日本の経済産業省に相当）の外郭団体、資訊工業策進会でICT産業の調査研究を行っている産業情報研究所の洪春暉氏は「グローバルICT市場では従来のパソコンに加え、タブレットやスマートフォンとの融合などパラダイムシフトが起きており、新市場に向けチャンスは大きい」と分析している。世界の半導体市場が伸び悩んでいる中、今後の台湾ICT産業のさらなる成長に半導体製造装置業界では期待を寄せている。

9月開催のセミコン・タイワン2012。セミコン・ジャパンも同様の盛り上がりが期待される

繊維事業から続く「色」へのこだわり。
それがクラボウのエレクトロニクスへの出発点です。

繊維事業の中で私達がこだわり続けてきた「色」の制御技術は、染色工場のハイテク化の中で、染料などの自動調色を行うカラーマッチング技術へと発展。「色」への飽くなき探求心が生んだその技術は、クラボウ独自のエレクトロニクスシステムへと進化を遂げました。私達はこの「調色・計量」に加えて「情報処理」、「検査・計測」分野へと広げ、他の追随を許さないソリューションテクノロジーを創りあげたのです。

エレクトロニクス事業部
- 遊星式攪拌脱泡装置
- グラビア方式 コーティング試験機
- 薬液濃度測定装置
- 赤外吸収式膜厚計
- スクリーンマスク検査装置
- シート外観検査装置
- 基板外観検査装置

化成品事業部
- PEEK系耐熱フィルム
- 熱可塑性ポリイミドフィルム
- 特殊ポリスチレン系フィルム
- 耐熱ナイロンフィルム
- オールフッ素フィルター
- オールPEフィルター
- PFAボトル

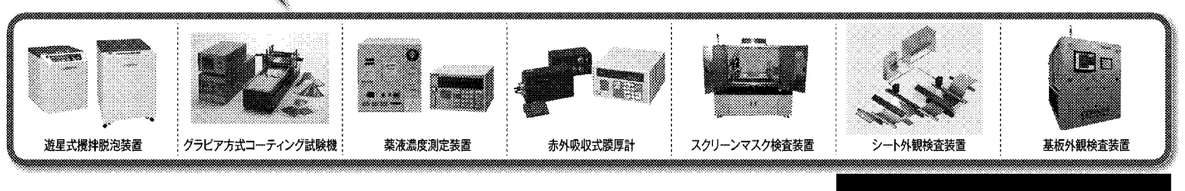
エンジニアリング部
- 薬液供給装置

関係会社
倉敷繊維加工㈱
- グラフト重合不織布、微量金属除去フィルター

㈱クラボウテクノシステム
- コンピュータ機器の製造・保守・販売

シーダム㈱
- 工業用・家庭用プラスチック製品の製造・加工・販売

エコー技研㈱
- 半導体洗浄装置等の製造・販売



SEMICON Japan2012
クラボウブース：3C-706

エレクトロニクス分野に最適なソリューションをお望みなら ▶ www.kurabo.co.jp/

クラボウ　総務部　広報グループ　〒541-8581 大阪市中央区久太郎町2-4-31　TEL:06-6266-5073　FAX:06-6266-5555